

長岡紫

むすんでひらいて

「手を結ぶ」

未知の表現だった あの頃
一生懸命 見つめていた
自分の小さな拳こぶし

「手を開く」

開放的で 嬉しくて
お日様ののように パーを作って
母に見せた掌たなごころ

手と心

結んだり開いたりしながら
何十年も歩んできた道のり
愛おしくて 懐かしくて
今日もまた
少し疲れたこの手を
むすんでひらく